



第106期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

広島電鉄株式会社

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社 第106期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長

梶田 昌夫

旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や金融緩和を背景に、企業業績や雇用環境が改善するなど、景気は穏やかな回復基調にありますが、海外経済の不透明感や円安による輸入価格の上昇、消費税率引上げに伴う個人消費の伸び悩みなど、とくに地方での景気回復の動きは依然として鈍く、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきまし

ては、旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

また、平成24年7月に着工し、現在まで順調に工事が進捗してきた大規模不動産開発プロジェクト「石内東地区開発事業」について商業用地の引渡しが始まりましたが、残りの工事につきましても引き続き安全かつ堅実に施工できるよう工程管理を行ってまいります。

運輸業および流通業が減収となり、不動産業が大幅な増収、建設業およびレジャー・サービス業も増収と

なったものの、不動産業における販売原価や建設業における工事原価の上昇、天候不順による宮島への来島者数の減少などにより、増収・減益となりました。

当連結会計年度の営業収益は、運輸業および流通業が減収となったものの、不動産業が大幅な増収となり、建設業およびレジャー・サービス業も増収となったことから、前連結会計年度と比較して17.8%、7,077百万円増加し、46,795百万円となりました。利益につきましては、不動産業における販売原価や建設業における工事原価の上昇、天候不順による宮島への来島者数の減少などにより営業利益は、前連結会計年度と比較して38.1%、317百万円減少し、515百万円となり、経常利益は、前連結会計年度と比較して46.1%、275百万円減少し、323百万円となり、当期純利益は、前連結会計年度と比較して26.0%、373百万円減少し、1,062百万円となりました。

様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、収益性の向上に努めてまいります。また、広島市が事業主体で

ある電車の駅前大橋ルート of 整備事業等を関係機関と協力しながら推進してまいります。

今後の経済見通しにつきましては、政府の経済政策に対する期待感が強いものの、デフレ脱却や景気回復が国民の実体経済に反映されるかどうか先行きが不透明な状況であり、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供による収益の獲得と、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、収益性の向上に努めてまいります。また、広島市が事業主体である電車の駅前大橋ルート of 整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業、広島大学跡地の活用策「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」といった事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループ情報

運輸部門



備北交通

備北交通(株)

広島市内から県北にお客様を誘致するために、一般公開されている庄原市内の庭をめぐる「庄原オープンガーデンバスパック」や、大自然の中で本格フレンチを味わっていただける「美食会バスパック」など、高速バスと地元の施設、

イベントをコラボレーションさせたバスパックを企画し、多くのお客様にご利用いただきました。

また、新車の導入を積極的に進め、高速バス車両に貸切バスと共通のロゴをあしらうなど、車両デザインを一新しブランド価値の向上を図りました。

エイチ・ディー西広島(株)

平成26年4月に実施された消費税率の引き上げに伴い、開業16年目にして初めての運賃改定を行いました。

今年度も新造車両を2両導入し、新たに床面には車内事故防止を呼びかける表示を設けるなど、安全性と快適性の向上を図りました。また、当社の特色である地元公民館との共催事業も引き続き開催し、地域貢献活動にも力を注ぎました。



エイチ・ディー西広島



車内事故防止表示

芸陽バス(株)

高速バス「かぐや姫号」にトイレ付車両2両を導入し、平成26年7月から運用を始め、お客様に快適にご利用いただいております。

また、全135両にドライブレコーダーを設置しており、そのうちの約半数の車両のカメラを4か所から7か所に増設し、安全運転に対する意識の向上を図りました。



かぐや姫号



手荷物、貨物搭載業務

広電エアサポート(株)

平成26年6月に会社創立60周年を迎えるに先立ち、4月に広電観光株式会社より社名変更いたしました。

広島空港における日本航空グループの航空運送代理業、東千田町本社での損害保険代理店業、広島電鉄(株)から受託している紙屋町の定期乗車券販売業務を通じて、世界的な(グローバル)視野を持ちつつ、地域密着(ローカル)で事業展開を行う「グローカルカンパニー」を目指します。

広島観光開発(株)

宮島ロープウエーでは、平成26年7月の宮島弥山展望台グランドオープンを記念してスタンプラリーなど各種イベントを実施し、宮島弥山展望台の周知と旅客誘致を図りました。また、ロープウエー開業55周年にあたり、記念イベントとして「弥山人気スポット総選挙」を実施し、宮島弥山の史跡や見どころを再認識していただくとともに、「宮島ロープウエーへの行き方MAP」を作製・配布し、島内各所からの積極的な旅客誘致に努めました。



宮島弥山展望台からの眺望

グループ情報



キャンペーンポスター

宮島松大汽船(株)

宮島口改札前にPASPY自動チャージ機を設置し、「PASPYで宮島松大汽船に乗って宮島へ行こう!」キャンペーンを実施し、お客様のPASPYの利用促進と利便性の向上を図りました。

宮島口港湾整備事業に伴い旅客動線を変更したため、お客様に、さらに安全でわかりやすい確実な案内誘導を行うよう努めました。

旅客運輸業の最大の使命であります安全運航に徹し、サービスや船内の快適性を向上させ、利用促進を図ってまいります。

不動産・建設部門

広電建設(株)

土木部、建築部および事業本部では、砂防堰堤・学校関係・公営住宅関係などの公共工事や民間工事を多数受注しております。

平成26年度は、緑ヶ丘3号砂防堰堤工事、中消防署江波出張所新築工事などを施工いたしました。



新築工事した中消防署江波出張所



緑ヶ丘3号砂防堰堤

流通部門



(株)広電ストア

平成27年2月に楽々園店の鮮魚売り場を改装し、昨年より開始した4期にわたる改装工事の全工程を終了いたしました。

水槽を設け、売り場を対面式にすることにより、鮮度感と賑わい性のある売り場にいたしました。

島根県大田市場からの魚の直送便も、お客様に大変ご好評をいただいております。

(株)広電宮島ガーデン

平成26年9月に企業理念として「すべての出逢いに感謝を」を制定しました。

これは平成26年度より刷新した社内のCS委員会で決定した「CSスローガン」を、「企業理念」に格上げたものです。

企業理念を各職場に掲示するとともに、社員がデザインしたイラスト入りの親しみやすいワッペンを全従業員が着用し、お客様との一期一会を大切にしたい、笑顔と挨拶があふれる店舗を目指してまいります。



ワッペン

ワッペン着用でお客様対応する社員

グループ情報

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

平成24年よりお客様のご厚意により行っております「エコステイ」による寄付金が、平成26年分を加え総額111,100円となりました。

これは、当ホテルに連泊されるお客様にご協力いただき、客室リネン(寝具・室内着等)や歯ブラシ・剃刀・ヘアブラシ等のアメニティは交換せず、お出かけの状態のままとさせていただく「エコ清掃」にご理解いただいたお客様おひとりにつき、宿泊代から100円の寄付金をお預かりするものです。

集まりました募金は、公益社団法人広島県みどり推進機構の「緑の募金」に寄付させていただいております。

当社は今後も「エコステイ」を推奨し、地域の緑化に貢献してまいります。



「エコステイ」PR



投球前にストレッチを行う参加者

(株)ヒロデンプラザ

平成24年から始めた「健康ボウリング教室」も平成26年度末で10回を数え、延べ1,272名の方にご参加いただきました。今後も定期的開催し、ボウリングの楽しさ、ボウリングが健康維持・増進にお役に立つことをお伝えしてまいります。



(株)グリーンバース・ヒロデン

平成26年10月で当社は開場20周年を迎えました。

プロゴルファーの中嶋常幸氏をお迎えし「グリーンバースゴルフ倶楽部開場20周年記念大会」を開催し、プレーヤーの皆様に楽しいひとときを過ごしていただきました。

また、毎月開催の「シニア・レディースデー」は旬の特産品を賞品としており大変好評を得ております。

ひろでん中国新聞旅行(株)

平成26年10月より、平成27年10月10日出発の「セブリティ・ミレニアムで行く台湾・沖縄プレミアムクルーズ7日間」の販売を開始しました。

収容人員2,500名様という、これまでに当社が取り扱ってきたクルーズ船の中では群を抜いて大型の客船で、広島には初寄港となります。

明るくフレンドリーなスタッフのおもてなしのもと、優雅な船旅をお過ごしいただけます。

営業の概況



1000形

新型超低床車両

新型超低床車両1000形を3両追加導入し、比治山線、江波線、横川線の各線で運行し、お客様がバリアフリー車両へ乗車していただける機会が増えるように努めました。

施設面の改良

江波線「舟入南町」電停の整備、宮島線「古江駅」の点字ブロック更新を行うとともに、宇品線「県病院前」電停改良工事等を実施し、利用客の安全確保に努めました。



「県病院前」電停



バスロケーションシステム

バスロケーションシステムの導入

平成27年3月に、バスロケーションシステム・ひろしま公共交通ナビ「くるけん」を、当社バスを含めた広島都市圏のバスに導入し、サービスを開始しました。平成27年度末までにほぼ全ての路線に拡大してまいります。



西風新都営業課

西風新都営業課の新設

平成26年11月に、開発が進むところ第三街区に西風新都営業課を開設し、あわせて西風新都線の増便、始発便の繰り上げおよび深夜便の延長を実施しました。

石内東地区開発事業

平成26年6月に商業用地の一部を竣工し、平成27年6月に残りの商業用地・住宅・業務用地の竣工を目指しております。

また、平成27年3月に日本郵便株式会社様と業務用地の一部について売買契約を締結いたしました。



開発中の石内東地区(公園予定地)



地下エントランス

広島トランヴェールビルディング 地下エントランスの改修

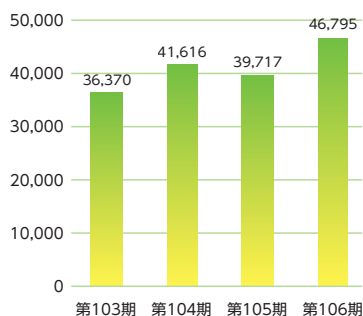
紙屋町に新たなにぎわいの場を設けるため、平成27年3月、広島トランヴェールビルディングの地下エントランスを大幅に改修いたしました。待ち合わせの場所としてご利用いただけるように緑の時計台やプロジェクターによる映像の投射で楽しさを演出しております。

連結業績ハイライト

		第103期 平成24年3月期	第104期 平成25年3月期	第105期 平成26年3月期	第106期 平成27年3月期
売上高	(百万円)	36,370	41,616	39,717	46,795
営業利益	(百万円)	1,333	1,437	832	515
経常利益	(百万円)	970	1,112	598	323
当期純利益	(百万円)	1,271	1,387	1,435	1,062
1株当たり当期純利益	(円)	20.95	22.87	23.67	17.52
総資産	(百万円)	90,041	92,048	93,537	93,352
純資産	(百万円)	32,520	34,199	35,898	39,422
自己資本比率	(%)	35.4	36.4	37.5	41.3
1株当たり純資産	(円)	525.55	551.90	578.86	636.01

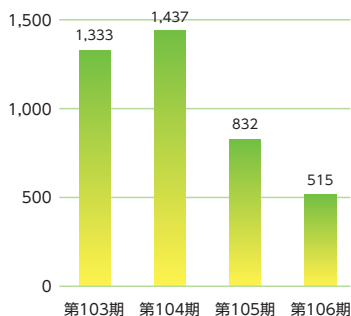
売上高

(単位：百万円)



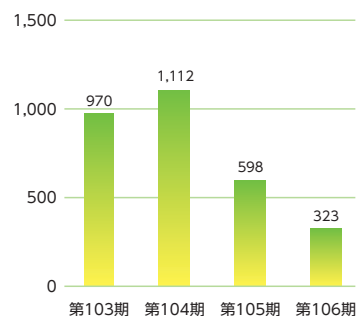
営業利益

(単位：百万円)



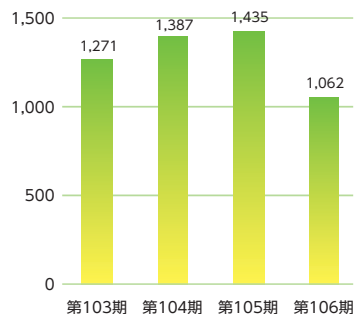
経常利益

(単位：百万円)



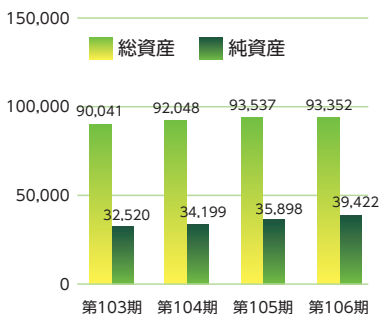
当期純利益

(単位：百万円)



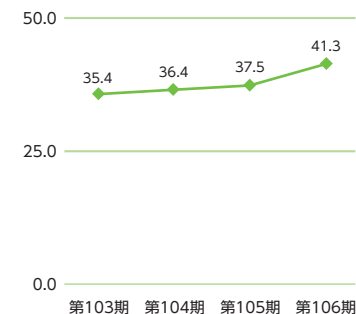
総資産／純資産

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 平成27年3月31日現在 (単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	18,711
現金及び預金	5,115
受取手形及び買掛金	2,420
販売土地及び建物	8,239
未成工事支出金	422
商品及び製品	152
原材料及び貯蔵品	498
繰延税金資産	539
その他	1,332
貸倒引当金	△ 10
固定資産	74,640
有形固定資産	65,585
建物及び構築物	16,512
機械装置及び運搬具	5,250
土地	42,633
建設仮勘定	26
その他	1,161
無形固定資産	714
借地権	45
その他	669
投資その他の資産	8,340
投資有価証券	5,166
長期貸付金	12
繰延税金資産	294
退職給付に係る資産	2,288
その他	645
貸倒引当金	△ 67
資産合計	93,352

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	28,651
支払手形及び買掛金	1,531
短期借入金	17,588
1年内償還予定の社債	257
未払金	2,774
未払法人税等	620
未払消費税等	586
繰延税金負債	2
未払費用	798
預り金	1,140
賞与引当金	1,106
役員賞与引当金	23
その他	2,221
固定負債	25,277
社債	739
長期借入金	6,431
繰延税金負債	1,452
再評価に係る繰延税金負債	10,534
退職給付に係る負債	1,260
その他	4,858
負債合計	53,929
純資産の部	
株主資本	13,562
資本金	2,335
資本剰余金	1,972
利益剰余金	9,345
自己株式	△ 92
その他の包括利益累計額	25,018
その他有価証券評価差額金	2,023
土地再評価差額金	21,992
退職給付に係る調整累計額	1,001
少数株主持分	842
純資産合計	39,422
負債純資産合計	93,352

連結損益計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで（単位：百万円）

科 目	金 額
営業収益	46,795
運輸業等営業費及び売上原価	37,987
販売費及び一般管理費	8,292
営業利益	515
営業外収益	422
営業外費用	614
経常利益	323
特別利益	2,336
特別損失	775
税金等調整前当期純利益	1,883
法人税、住民税及び事業税	831
法人税等調整額	△ 73
少数株主損益調整前当期純利益	1,126
少数株主利益	63
当期純利益	1,062

連結株主資本等の変動額一覧 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで（単位：百万円）

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	－	2,335
資本剰余金	1,972	－	1,972
利益剰余金	8,485	860	9,345
自己株式	△ 91	△ 0	△ 92
株主資本合計	12,702	859	13,562
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	1,051	972	2,023
土地再評価差額金	20,920	1,072	21,992
退職給付に係る調整累計額	440	560	1,001
その他の包括利益累計額合計	22,411	2,606	25,018
少数株主持分	784	58	842
純資産合計	35,898	3,524	39,422

注) 当一覧表は決算発表で開示された「連結株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。

連結キャッシュフロー計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで （単位：百万円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,728
現金及び現金同等物の増減額	△ 848
現金及び現金同等物の期首残高	5,228
現金及び現金同等物の期末残高	4,379

グループ会社の状況 (平成27年3月31日)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)広電ストア	96	100.0	流通業
広電建設(株)	50	100.0	土木、建築、住宅、不動産業
広電エアサポート(株)	98	100.0 (25.0)	航空運送代理業、保険代理店業
備北交通(株)	45	88.7	バス事業、旅行代理業
(株)広電宮島ガーデン	50	100.0	レストラン、売店
宮島松大汽船(株)	60	60.0	海上運送業
(株)ヒロデンプラザ	40	100.0	ボウリング、ゴルフ練習場
(株)グリーンバース・ヒロデン	90	100.0	ゴルフ場経営
(株)ホテルニューヒロデン	210	100.0	ホテル業
広電興産(株)	20	100.0	不動産賃貸業
エイチ・ディー西広島(株)	30	100.0	バス事業
広島観光開発(株)	125	57.7 (13.4)	索道業
(株)交通会館	156	63.7	不動産賃貸業
芸陽バス(株)	100	93.2	バス事業、旅行業、不動産業、保険代理業
大亜工業(株)	241	20.1	電気工事、電気通信工事、鋼構造物工事等
ひろでん中国新聞旅行(株)	100	50.0 (4.6)	旅行業
広島観光汽船(株)	40	－	海上運送業
(有)やまとタクシー	5	－	タクシー業
(有)広電商事	3	－	酒類の販売

注) 出資比率は、保有株式数を発行株式数で除したものであり、()内は間接保有比率で内数であります。

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表 平成27年3月31日現在 (単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	13,917
現金及び預金	2,244
未収運賃	213
未収金	2,150
未収収益	35
短期貸付金	109
販売土地及び建物	8,189
貯蔵品	441
前払金	32
前払費用	9
繰延税金資産	459
その他の流動資産	130
貸倒引当金	△ 100
固定資産	64,844
鉄・軌道事業固定資産	12,565
自動車事業固定資産	12,836
不動産事業固定資産	30,348
各事業関連固定資産	1,885
建設仮勘定	26
投資その他の資産	7,180
関係会社株式	1,180
投資有価証券	4,835
長期貸付金	10
前払年金費用	949
その他の投資等	895
貸倒引当金	△ 691
資産合計	78,762

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	20,388
短期借入金	12,530
1年内償還予定の社債	225
未払金	2,490
未払費用	563
未払法人税等	484
未払消費税等	387
預り連絡運賃	100
預り金	627
前受運賃	292
前受金	1,553
前受収益	147
賞与引当金	873
その他の流動負債	111
固定負債	25,156
社債	525
長期借入金	5,503
繰延税金負債	967
再評価に係る繰延税金負債	10,534
退職給付引当金	642
債務保証損失引当金	2,998
関係会社事業損失引当金	2,096
その他の固定負債	1,890
負債合計	45,544
純資産の部	
株主資本	9,222
資本金	2,335
資本剰余金	1,975
利益剰余金	4,963
自己株式	△ 52
評価・換算差額等	23,994
その他有価証券評価差額金	2,002
土地再評価差額金	21,992
純資産合計	33,217
負債純資産合計	78,762

損益計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで（単位：百万円）

科 目	金 額
鉄・軌道事業	営業収益 6,313
	営業費 6,362
	営業損失 49
自動車事業	営業収益 10,790
	営業費 10,836
	営業損失 45
不動産事業	営業収益 10,900
	営業費 10,020
	営業利益 880
全事業営業収益	28,004
全事業営業費	27,218
全事業営業利益	786
営業外収益	408
営業外費用	645
経常利益	549
特別利益	1,529
特別損失	1,026
税引前当期純利益	1,052
法人税、住民税及び事業税	588
法人税等調整額	△ 92
当期純利益	556

株主資本等の変動額一覧 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：百万円）

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,975	—	1,975
利益剰余金	4,608	354	4,963
(剰余金の配当)		※△ 212	
(当期純利益)		※ 556	
(土地再評価差額金の取崩)		※10	
自己株式	△ 51	△ 0	△ 52
株主資本合計	8,868	354	9,222
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	1,041	960	2,002
土地再評価差額金	20,920	1,072	21,992
評価・換算差額等合計	21,961	2,033	23,994
純資産合計	30,829	2,387	33,217

注) 1. 当一覧表は決算発表で開示された「株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。
2. ※は利益剰余金の内数です。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈基準および贈呈内容

株主優待乗車券・乗車証(年2回)		
所有株式数	種別	枚数
1,000株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ4～24枚
12,000株以上	電車全線・広島都心部エリアバス乗車証(1名記名式)	1枚
24,000株以上	バス全線乗車証または 電車全線・広島都心部エリアバス乗車証(1名記名式)	1枚
	電車全線乗車券	12枚
36,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式)	1枚
150,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚
300,000株以上		3枚
広電グループ諸施設ご優待割引券(年2回)		
1,000株以上	広電グループ諸施設ご優待割引券	1セット
自社指定商品(年2回)		
1,000株以上	広島県産品など	1セット

交付時期および有効期限

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	交付時期	有効期間	交付時期	有効期間
株主優待乗車券	5月末	—	11月末	—
株主優待乗車証		6/1～11/30		12/1～5/31
広電グループ諸施設ご優待割引券	6月末	7/1～12/31	12月末	1/1～6/30
自社指定商品	7月	—	1月	—

株主優待制度のお問い合わせ先：〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号 広電本社ビル4階
広島電鉄株式会社 総務課 (株式担当) ☎(082) 242-3522

会社の概要

電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚必要です。
3. 乗り継ぎには2枚必要です。

乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名者は、原則株主様となります。
ただし、株主様がご使用されない場合は、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系卑属（子または孫）の範囲で記名者を変更し、ご使用いただけます。
3. 使用者を変更する場合は、戸籍謄本、住民票などの証明書等で確認させていただくことがあります。

バス全線乗車証、電車・バス全線乗車証の通用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、呉広島空港線、米子線はご使用いただけません。
2. 三次線・松江線・浜田線・益田線・呉線はご使用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 当社が定めるシャトルバス・臨時便等にはご使用いただけません。

広電グループ諸施設ご優待割引券について

マダムジョイ・広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバースゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

自社指定商品について

1. 当社で指定した商品をご送付しています。最近では、音戸ちりめん、広島県産のお米などをご送付させていただいております。
2. 株主様が不在等で当社に返送された場合、送付の日から2週間以上経過したものを処分させていただくことがあります。

会社概要（平成27年3月31日現在）

設立	昭和17年4月10日	
資本金	23億3,562万5千円	
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号	
従業員数	1,638名	
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業	
営業軒	1. 鉄・軌道	35.1軒
	2. 自動車	1,465.8軒
車両数	1. 鉄・軌道	303両
	2. 自動車	558両

株式の状況（平成27年3月31日現在）

発行可能株式総数	2億4,000万株
発行済株式の総数	6,089万1千株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	4,114名

取締役および監査役（平成27年6月26日現在）

代表取締役社長	椋 田 昌 夫
常務取締役	迫 孝 治
常務取締役	倉 本 勇 治
取締役	藤 元 秀 樹
取締役	沼 田 卓 壮
取締役	仮 井 康 裕
取締役	平 町 隆 典
取締役	横 田 好 明
取締役	瀬 崎 敏 正
取締役	岡 田 茂
取締役	田 村 興 造
取締役	秦 清
常勤監査役	尾 崎 宏 明
監査役	笠 井 久 雄
監査役	坂 井 康 成

- 注) 1. 取締役 田村興造、秦 清は、社外取締役であります。
2. 監査役 笠井久雄、坂井康成は、社外監査役であります。

株主メモ



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777(フリーダイヤル)

手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払のお申し出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告の方法

電子公告により当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.hiroden.co.jp/>

ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、中国新聞に掲載いたします。

お知らせ

平成27年5月27日、28日に株主懇談コーナーを開催いたしました。

例年、5月と11月に株主懇談コーナーを開催しておりますが、このたびは11月の株主懇談コーナーに替えて、「株主アンケート」を実施する予定です。株主様のご協力をお願いいたします。

広島電鉄株式会社

〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号
☎(082) 242-3521 <http://www.hiroden.co.jp/>